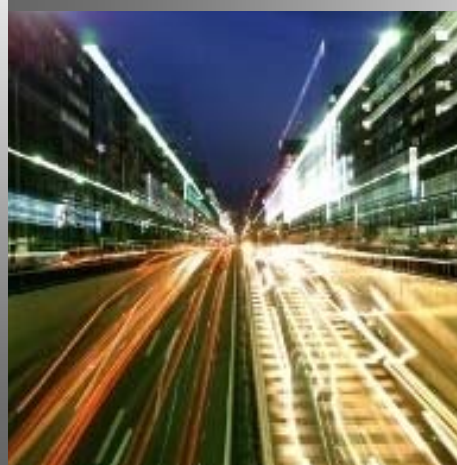




IT in all Based on IT

# 流通BMS<sup>®</sup>： 導入のポイント ～ タイミングと考え方 ～



株式会社 インテック  
流通BMS事業推進室

栗田 和則

2009.11.27

1. インテック ご紹介
2. 「流通BMS®」に関するインテックの取り組み
3. 「流通BMS®」に取り組むタイミング
4. 「流通BMS®」に対応する際の考慮事項
5. 【ご参考】 インテックの提供するソリューション

「流通BMS®」は、財団法人流通システム開発センターの登録商標です。

# 1. インテック ご紹介

## 会社概要

- 社 名 株式会社インテック INTEC INC.  
<http://www.intec.co.jp/>
- 代 表 者 代表取締役社長 金 岡 克 己
- 所 在 地 (本社) 富山市、(東京本社) 江東区
- 設 立 1964年1月11日
- 資 本 金 208億30百万円(2009年10月現在)
- 事 業 所 札幌、仙台、山形、新潟、東京、横浜、長野、  
名古屋、京都、大阪、神戸、広島、山口、愛媛、  
高松、福岡、大分、魚津、富山、高岡、金沢、  
福井、長野、武漢、上海



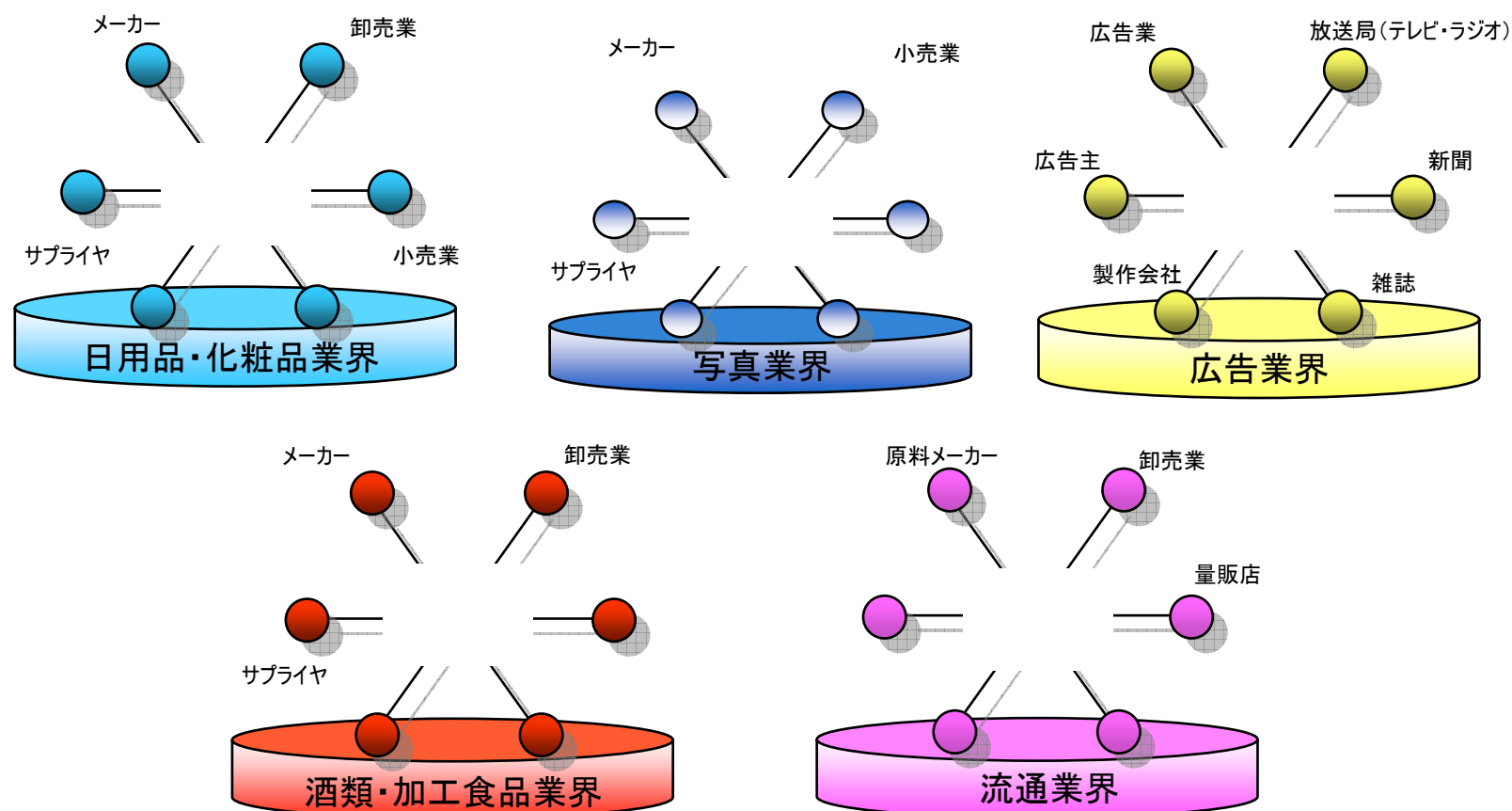
- 総務省 電気通信事業者
- 総務省 情報通信ネットワーク安全信頼性対策実施事業所
- 経済産業大臣認定 特定システムオペレーション企業
- 経済産業省 システムインテグレータ登録
- 経済産業省 システム監査企業台帳登録
- 経済産業省 情報セキュリティ監査企業台帳登録
- 富山県知事 特定建設業許可 電気通信工事業
- 富山県知事 特定建設業許可 電気工事業



IT Holdings  
Group

# 1. インテック ご紹介

1985年の電気通信事業法改正と共に特別第二種電気通信事業者第一号認可を取得、ネットワーク事業としてVANサービスを開始して以来、お客さまのニーズに基づく業界VANを、数多く構築・運用、EDIソリューションを提供しています。



## 2. 「流通BMS<sup>®</sup>」に関するインテックの取り組み

- 「流通BMS<sup>®</sup>」対応システムの提供 (2007年4月～)
- 流通業界共通認証局証明書ポリシーに基づく、電子証明書発行サービスを開始 (2007年10月～)
- 通信ソフトウェアベンダー同士での相互接続試験に参加・協力 (EDIINT AS2, ebXML MS, JXの全てで実施 2008年度)
- 「流通BMS<sup>®</sup>」を採用する方へ、EDIシステムを提供
  - ASP型、サーバ導入型、受注端末型のフルラインナップ
  - 電子証明書では企業だけでなく個人事業主もターゲットとし、広く使える標準インフラを提供
- 流通システム標準普及推進協議会・技術仕様部会に委員として参加、継続的に標準推進に貢献



### 3. 「流通BMS®」に取り組むタイミング

- **利益があるか？**

いろいろ理由をつけても、利益が無ければ意味が無い。  
投資はリターンを期待して行うもの。  
いい事あるの？  
やらなかったら悪い事あるの？

- **世の中の風潮はどうか？**

いろいろ理由をつけても、自分だけがやるのは難しい。  
みんながやっている事なら、やらなければならないし、  
やるべきだとみんなが思っているなら、取り組まねば  
ならない。



### 3. 「流通BMS®」に取り組むタイミング

- ・ 段階的な取り組みから、より大きな効果へ！

#### ● 業務効率化とコスト削減

#### 流通SCMの実現



インターネット

アナログ公衆回線からコンピュータのネットワークへ

### 3. 「流通BMS®」に取り組むタイミング

- **政府の動き** (経済産業省、公正取引委員会による公開されている情報)

- **大規模小売業告示** (100億円以上)

- 受注オンラインシステムの利用料金を求めるようなケースについて、取引先に利益があるものでも合理的と認められる

**定型的なビジネス情報のやり取りについては、  
業界を問わず「標準化」「効率化」が  
求められており、厳しい経済情勢とあいまって  
施策のひとつとして意識されている。**

⇒ 固有の情報システムを導入するよう要求する事は下請法違反に繋がる。



### 3. 「流通BMS®」に取り組むタイミング

#### 流通BMS対応企業

現在全体では？

#### 共同実証対応企業

##### 小売業

**共同実証参加 : 15**

**現在全体では？**

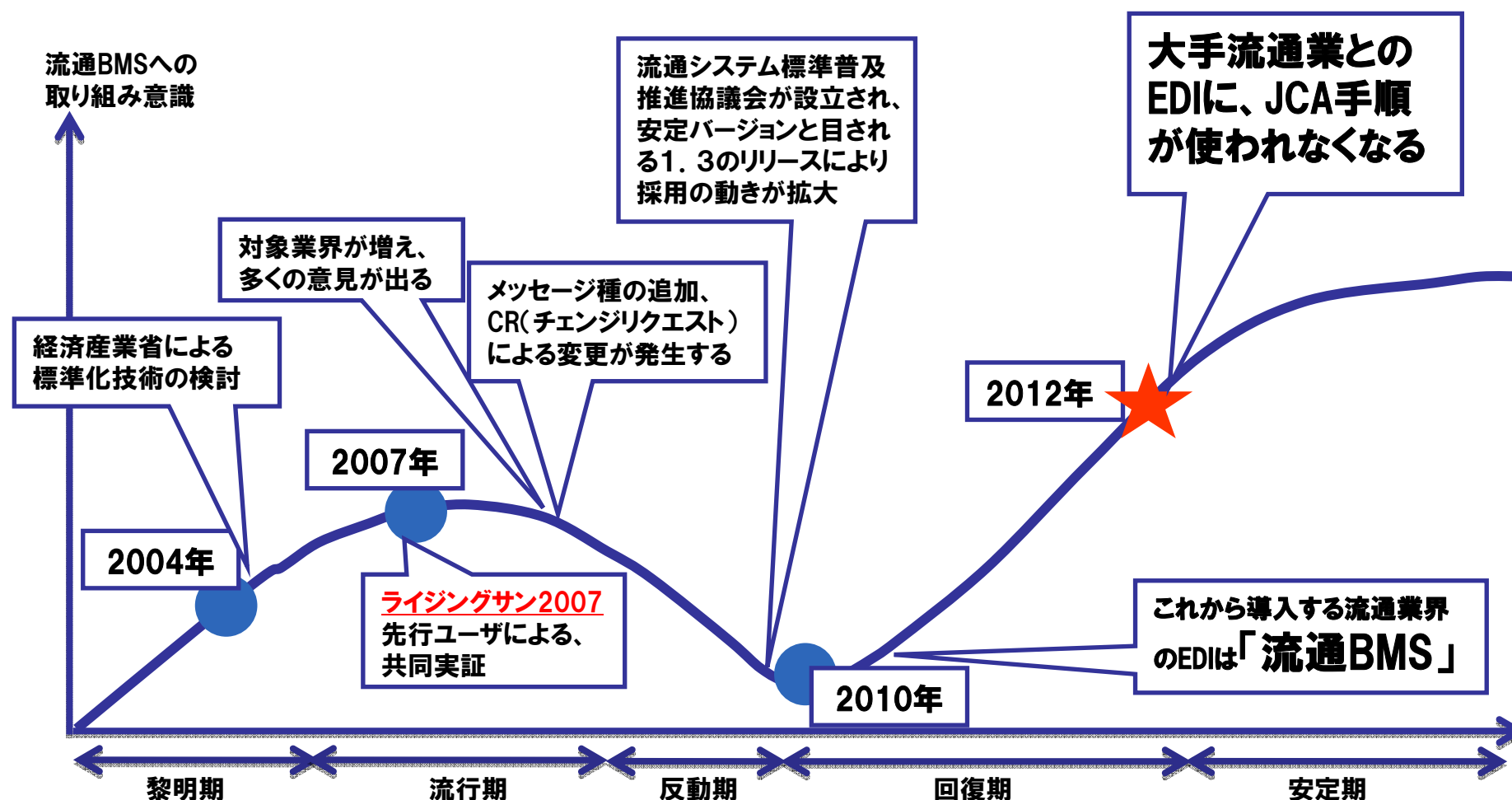
##### 卸売業・メーカー等

**共同実証参加 : 37**

**現在全体では？**

### 3. 「流通BMS<sup>®</sup>」に取り組むタイミング

バージョン1. 3の登場により、2010年からは各社の流通BMSに対する取り組み意識が高まる。また、2012年を目安に、大手流通業からJCA手順を全廃していく可能性がある。流通BMSが技術的に浸透すると、小売とメーカー・卸を結ぶEDIが全面刷新され、これを機に業務改革(基幹システム再構築)を進めるユーザーが急増すると思われる。



### 3. 「流通BMS<sup>®</sup>」に取り組むタイミング

| 連携に必要な規定        | JCA手順                                 | 流通BMS                           |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| (1) 通信回線        | 公衆回線（電話回線）<br><i>低速・高コスト</i>          | インターネット<br>（ブロードバンド）<br>+ 電子証明書 |
| (2) 通信プロトコル     | JCA手順<br><i>設備面で限界</i>                | ebMS/AS2/JX                     |
| (3) データ交換フォーマット | 固定長フォーマット<br><i>拡張できない</i>            | XMLフォーマット（拡張可能）                 |
| (4) メッセージ標準     | なし。（当事者の2社間で独自・個別<br><i>相手ごとに規定</i> ） | バージョン1.3では<br>生鮮のメッセージを統合       |
| (5) 業務フロー       | 企画・仕様なし（2社間で独自・個別<br><i>相手ごとに規定</i> ） | メッセージ標準策定に当たり<br>実務者による検討がされている |

## 「流通BMS<sup>®</sup>」の特徴

- 高速なインターネットで安全・確実に通信可能
- 業務フローとメッセージを標準化し、サプライチェーンの複雑化の原因を解消
- 業界標準を定める事で、煩雑な個別対応のシステム開発を解消

### 3. 「流通BMS®」に取り組むタイミング

## ・「とりあえず」なのか、「折角だから」なのか？

もう、  
無関係では  
いられない

**流通BMS対応を想定して、自社のシステム更改を計画する！**

業務的にも見直すような投資タイミングがある  
物流センターの稼働、物流運用の変更、など



流通BMSを活用した業務効率化の取り組み  
を検討する。

システムの更改、変更、バージョンアップがある  
ホストのオープンシステム化、構成変更など



流通BMSを活用した業務効率化の取り組み  
を検討する。まずは情報項目として流通BMS  
を意識した対応を行う。

取引先からの対応要請がある  
主要な取引先から流通BMS対応をお願いされる



「折角だから」流通BMSの内容を理解し、基  
本的に全ての項目に対応する。：他社からの  
要請時には追加対応が最小化される。

「とりあえず」対応端末を導入する：規模が大  
きくなるまでは他との接続にも使える。

「とりあえず」当該取引先の要請に応えるた  
めのシステム対応を行う：他の取引先からの  
要請時には追加対応が必要。

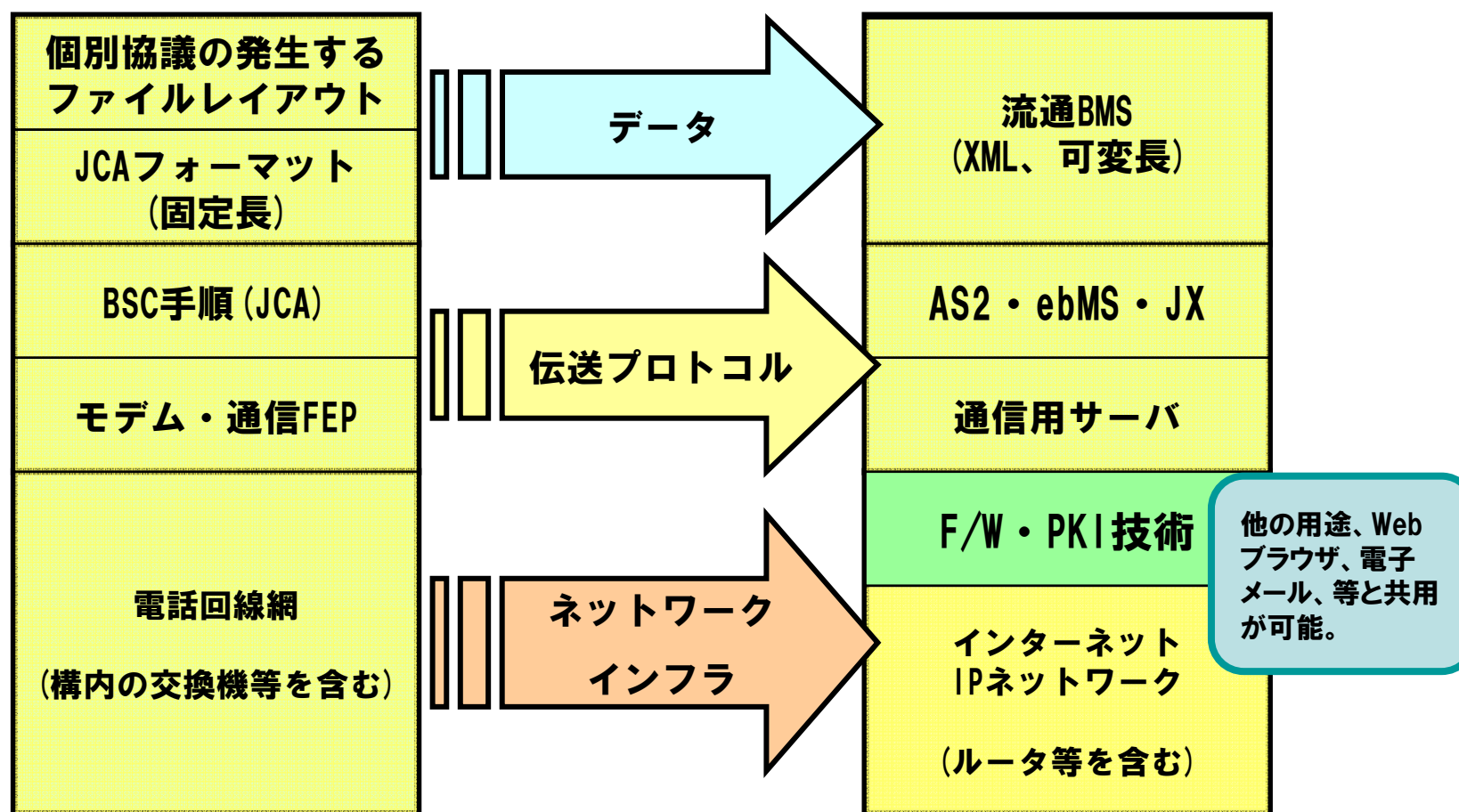
## 4. 「流通BMS<sup>®</sup>」に対応する際の考慮事項

電子商取引の技術要素は変わらない

データ、伝送プロトコル、  
ネットワークインフラ

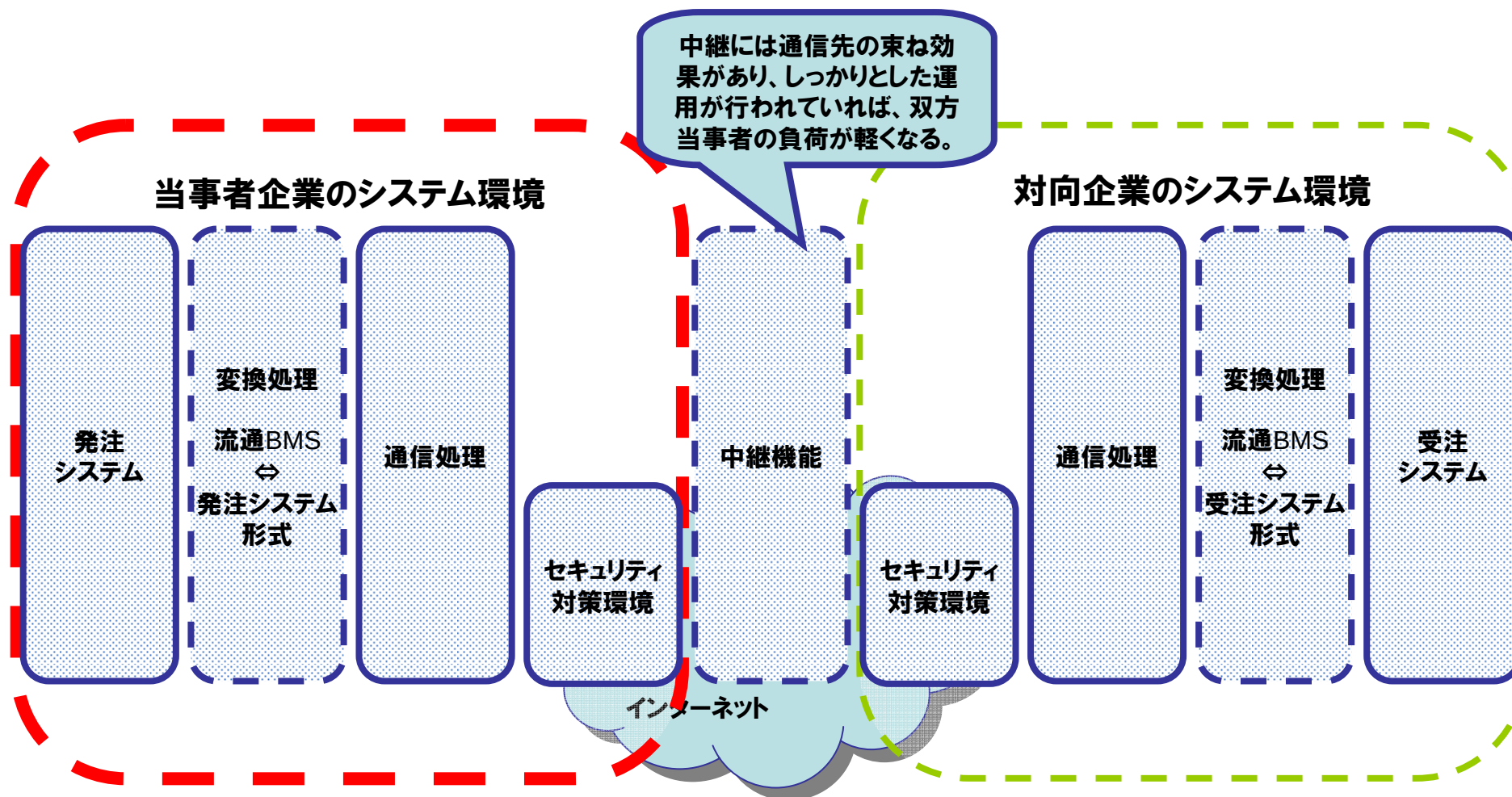
新たに実現可能となるもの(ネットワークの変化)

高速化→インターネットの高速化によって  
汎用化→インターネット接続は汎用的に活用可能



## 4. 「流通BMS<sup>®</sup>」に対応する際の考慮事項

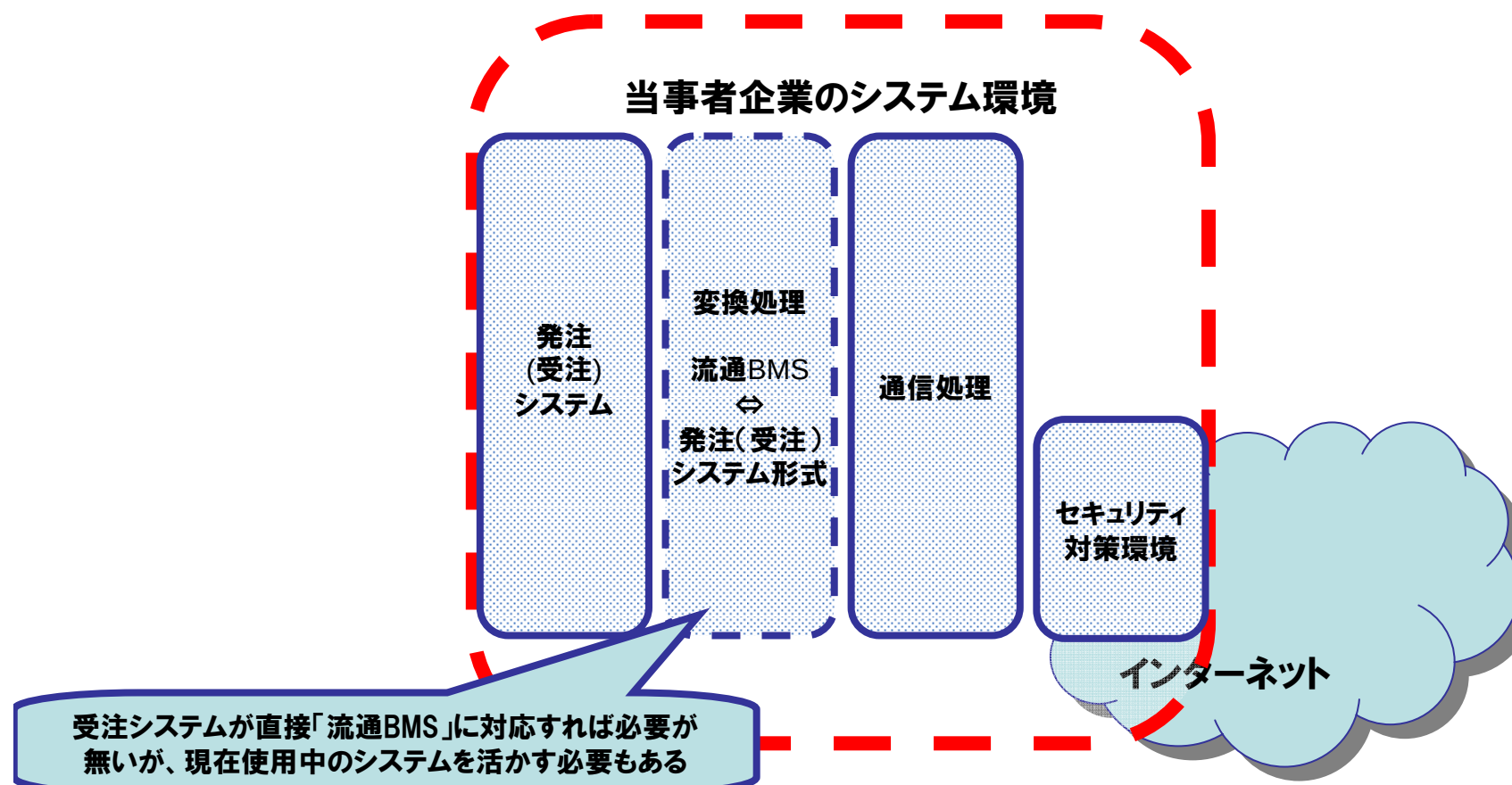
### ・ インターネットを使うEDI環境とは？





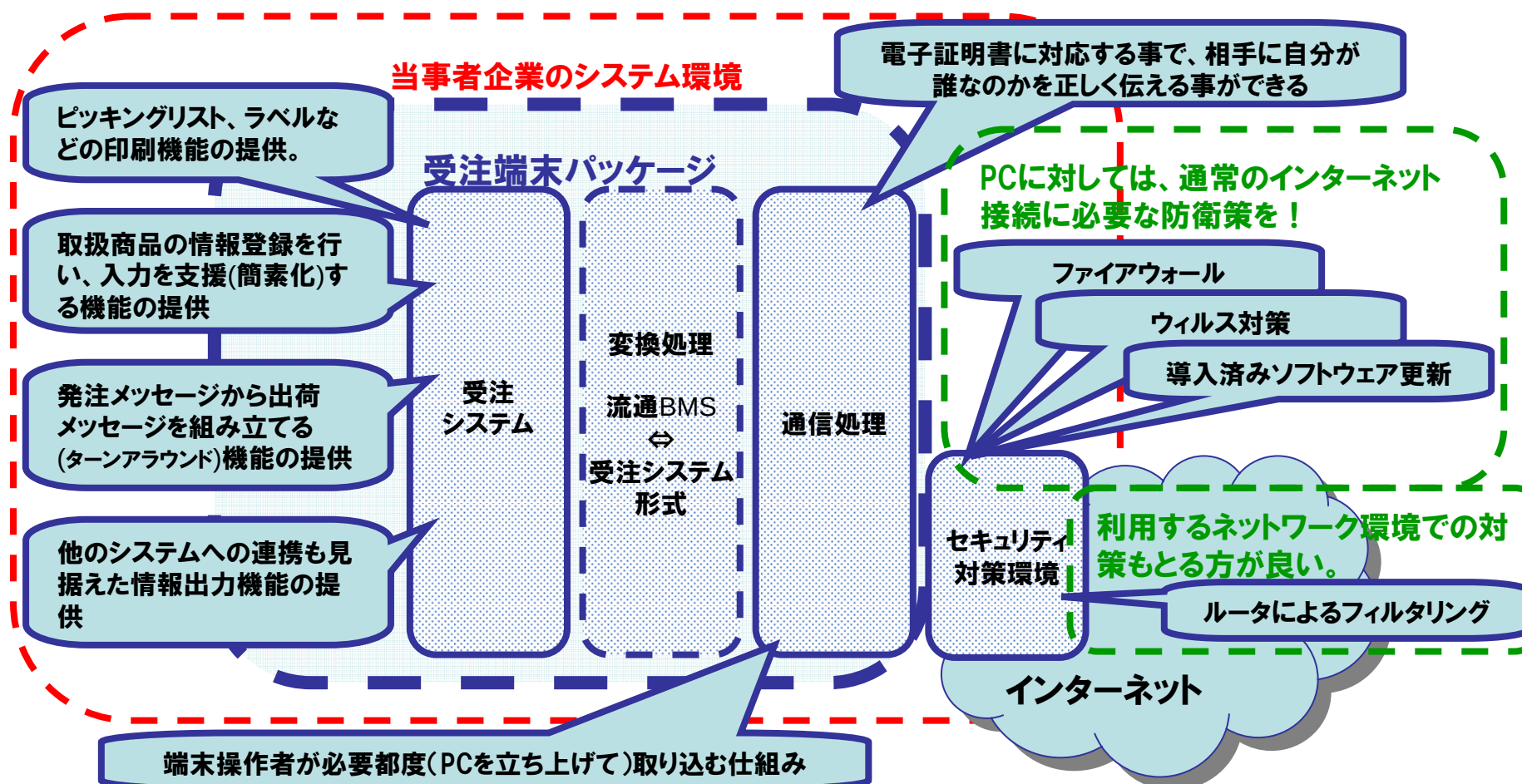
## 何をどの様に準備すべきなのか？

- 個別企業の準備すべき環境は、大小を問わず、一通りの機能を備える必要がある。



## 何をどの様に準備すべきなのか？

- 端末型のパッケージでは、簡易な受注システムの機能を有している。(情報量が少ない場合)



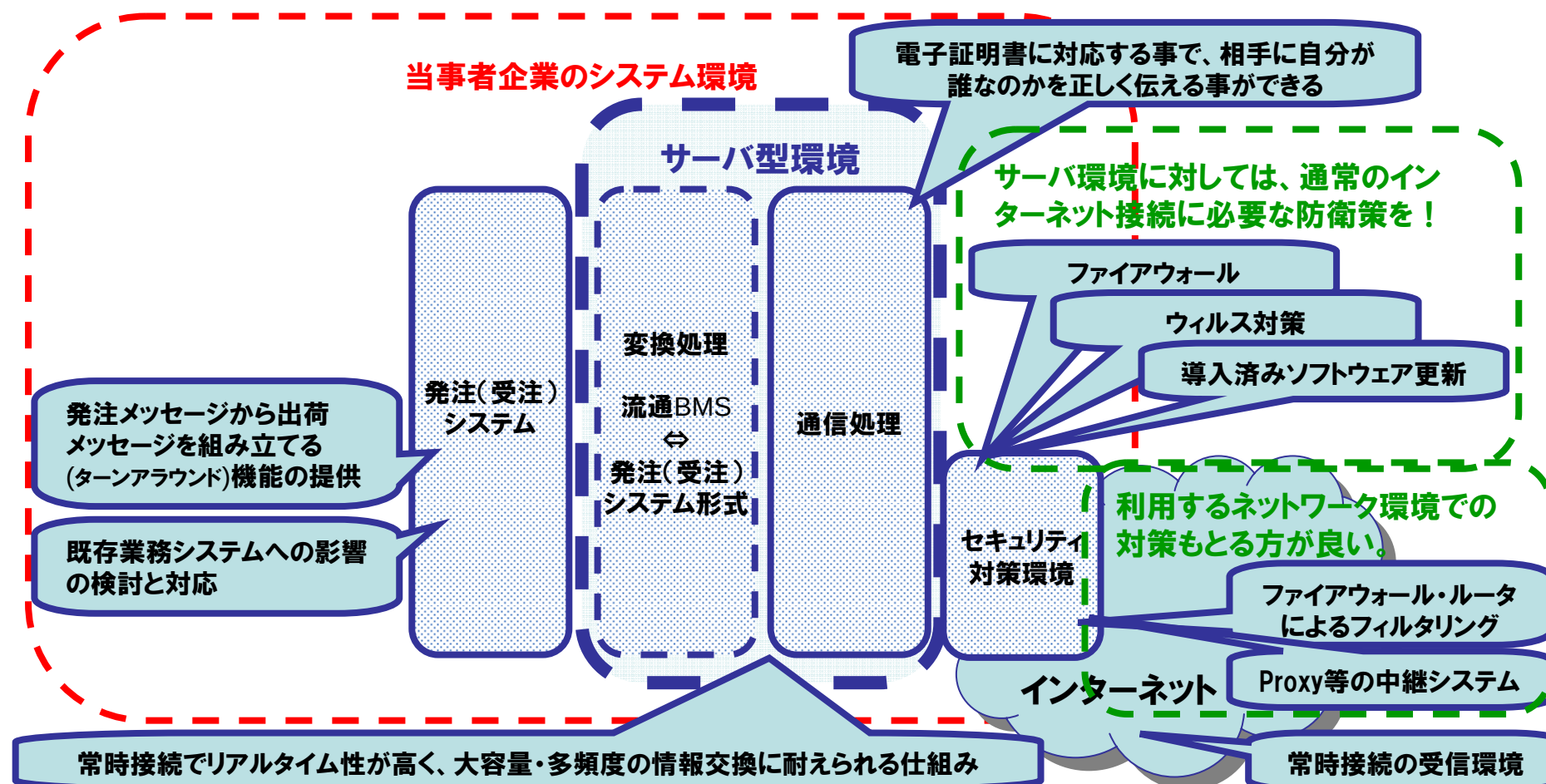
## 端末型の場合

- ・ 製品の提供する範囲の機能であれば、特別に考慮することはありません。
- ・ 必要に応じて、他のシステムの連携方法なども確認しましょう。

| ポイント                | 事象・確認事項                                                        | 考慮事項                                                                                                                                                  |
|---------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インターネット接続<br>環境の準備  | 通常のADSLなどの常時接続環境を準備している。<br>または、会社が専門家に準備させた安全なインターネット接続環境がある。 | 問題ありません。<br>ブロードバンドルータ等でのセキュリティ対策をする事で安全性が高まります。                                                                                                      |
|                     | アナログ回線・ISDNなどでのダイヤルアップ接続を利用している場合                              | JX手順では接続しに行かないとデータ有無が分かりません。<br>接続を行うタイミングでインターネット接続が延長され、時間単位課金では必要以上の金額を支払う事になりかねません。<br>手間を減らして費用を抑えるために、定額制に変更しましょう。出来れば、ADSL／光などの常時接続環境に変更しましょう。 |
|                     | セキュリティ対策をしているか？                                                | インターネット接続をするPCには、十分なセキュリティ対策が行われているか？<br>ファイアウォールやウィルス対策など。                                                                                           |
| アプリケーションの<br>操作方法など | 予行をしているか？<br>事前に説明を受けているか？                                     | 業務運用の確認を含め、実際の手順を一通り確認しておきましょう。勉強会などを行っている事もあります。                                                                                                     |
|                     | バージョンアップ等の手順を確認しているか？                                          | 製品別に、バージョンアップの方法や考え方があります。自分の利用している端末アプリケーションでは、どういう時に何を考慮しなければいけないのか、確認しておきましょう。                                                                     |
|                     | 製品サポート窓口に関合せ可能か？                                               | いざという時の為の保守・サポート契約などの締結と、連絡先・問合せ方法の確認をしておきましょう。                                                                                                       |

## 何をどの様に準備すべきなのか？

- サーバ型を選択する場合には、常時接続運用を考慮し、信頼の置けるインフラ環境を準備する。



## サーバ型の場合

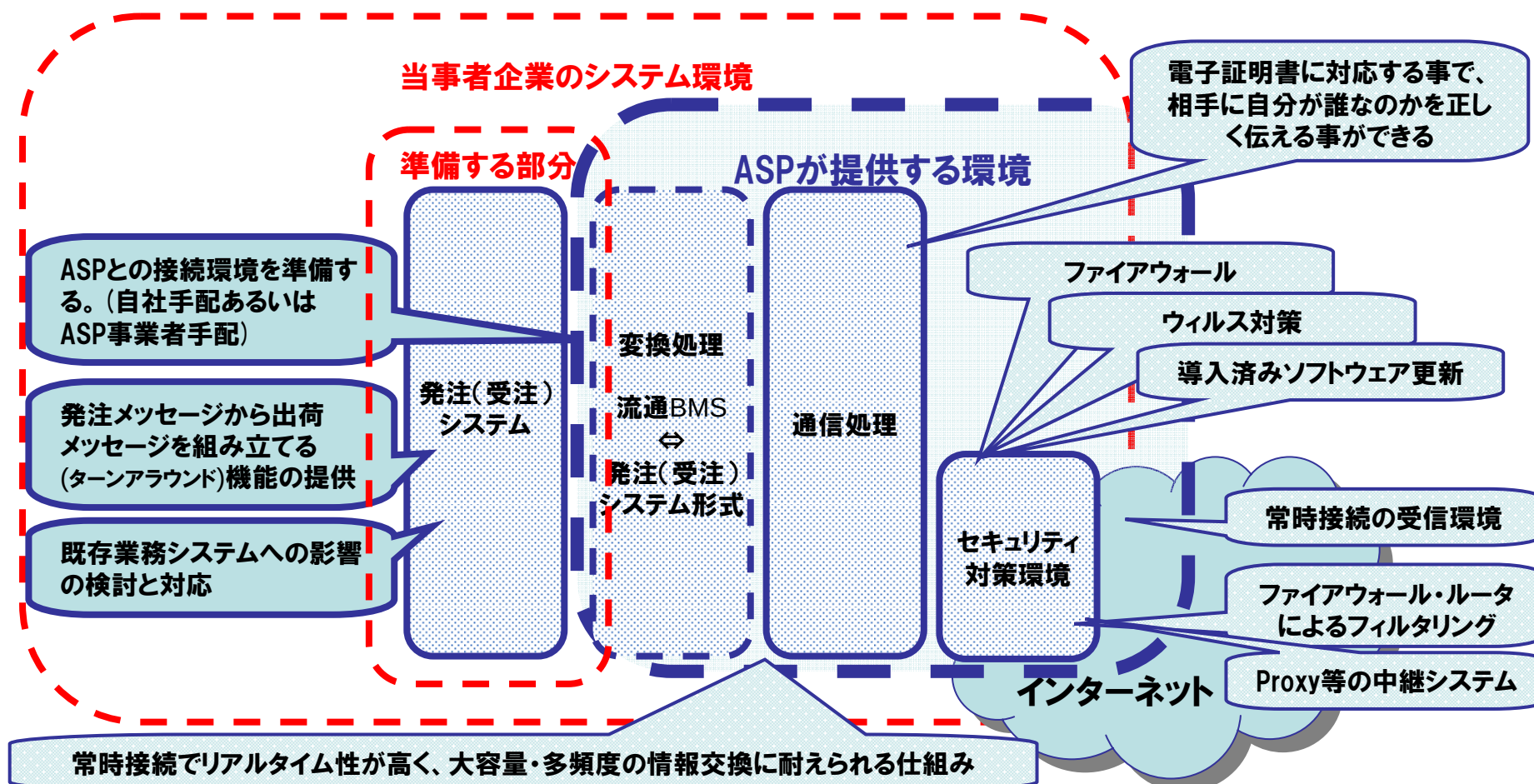
- ・ インターネットEDIに必要なインフラ環境を構築しましょう。
- ・ 連携先システムとのインターフェース設計をしっかりと行いましょう。

| ポイント            | 事象・確認事項                          | 考慮事項                                                                                                                              |
|-----------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| インターネット接続環境の準備  | どのような環境が用意されているのか？               | 専門家に任せましょう。考慮事項はたくさんあります。適切なアドバイスを受けましょう。                                                                                         |
| 通信サーバ環境         | バージョンアップ等の手順を確認しているか？            | 製品別に、バージョンアップの方法や考え方があります。採用するサーバでは、どういう時に何を考慮しなければいけないのか、確認しておきましょう。<br>主なポイント：流通BMSのバージョンアップ・並行稼働・証明書の更新・                       |
|                 | 製品サポート窓口に関問合せ可能か？                | いざという時の為の保守・サポート契約などの締結と、連絡先・問合せ方法の確認をしておきましょう。                                                                                   |
| アプリケーションの連携方法など | 既存システム、受注（発注）システムへの影響範囲を確認しているか？ | これまでのEDIに比べ追加の項目が発生していると考えましょう。基本的には全項目を取り込み、ターンアラウンド可能なシステム構成としておくことが望まれます。<br>何処までやるのか？ 何からやるべきなのかを見極めましょう。                     |
|                 | 業務との関連を確認しているか？                  | まず、業務にあわせたメッセージを採用することになりますが、それに合わせて具体的な情報の流れを検証しましょう。                                                                            |
|                 | 参考にするべき資料は？                      | 採用する製品のベンダーが提供する資料もありますが、基本的には流通システム標準普及推進協議会などで公開している資料を参照しましょう。（誰もが同じものを見て対応できるのが標準化！）その上で取引先からの情報も確認し、サポートしてくれるITベンダーを活用しましょう。 |



# 何をどの様に準備すべきなのか？

- ASP(アウトソーシング)であれば、インターネットに変わる事による追加考慮事項への対応が楽に。



## ASP (サービス) 型の場合

- 多くの準備がASP事業者によって済まされます。
- 連携先システムとのインターフェース設計はしっかり行いましょう。

| ポイント            | 事象・確認事項                          | 考慮事項                                                                                                                              |
|-----------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ASP接続環境の準備      | ASP事業者との接続方法・インターフェースの取り方の確認     | ASP事業者より必要な資料などが提示される事になりますが、自社で対応しなければいけない範囲を確認しておきましょう。                                                                         |
| ASP提供環境の確認      | メンテナンス・バージョンアップ等のポリシーの確認         | ASP事業者が提供する内容を確認しましょう。                                                                                                            |
|                 | 接続先対応などの作業分担の確認                  | ASP事業者側で接続先との体系的な対応をしてもらう事が可能ですが、対象作業範囲や切り分け方法について確認しましょう。                                                                        |
|                 | サポート窓口に問合せ可能か？                   | いざという時の為の保守・サポート契約などの締結と、連絡先・問合せ方法の確認をしておきましょう。                                                                                   |
| アプリケーションの連携方法など | 既存システム、受注（発注）システムへの影響範囲を確認しているか？ | これまでのEDIに比べ追加の項目が発生していると考えましょう。基本的には全項目を取り込み、ターンアラウンド可能なシステム構成としておくことが望まれます。何処までやるのか？何からやるべきなのかを見極めましょう。                          |
|                 | 業務との関連を確認しているか？                  | まず、業務にあわせたメッセージを採用することになりますが、それに合わせて具体的な情報の流れを検証しましょう。                                                                            |
|                 | 参考にするべき資料は？                      | 採用する製品のベンダーが提供する資料もありますが、基本的には流通システム標準普及推進協議会などで公開している資料を参照しましょう。（誰もが同じものを見て対応できるのが標準化！）その上で取引先からの情報も確認し、サポートしてくれるITベンダーを活用しましょう。 |



## その他の確認事項

### • インフラ関連

- 電子証明書の申請を行いましょう。
  - インターネット越しで対向先を確認する為には、証明書が必要です。
  - 現在はJXクライアントの場合、証明書を使わない事もあります。
- データ量を見積もりましょう。
  - JX手順では10MB以下という目安が公表されています。
    - 10MB以上のデータが取り扱えるJX手順のソフトウェアもありますが、接続先が扱えるとは限りません。双方にとって問題の無い用意をしましょう。
  - 多くのアイテム・多くの納品先店舗がある場合は、明細数が大きく膨らみます。(掛け算)
    - 例えば、「アイテム数×店舗数×発注頻度」というかたちで考えましょう。

### • メッセージ関連

- 禁則文字の扱いについて理解しておきましょう。
- 必須項目への対応が不完全な場合、多くは通信処理の直後で弾かれてしまいます。(XMLデータのバリデーションチェック)
- 任意項目への対応は、全て行うのが理想です。
- 部分的に対応する場合は、後日追加で発生する可能性がある対応内容も見据えて検討しておきましょう。

### • 業務運用関連

- お取引先との間で移行日や、並行稼働期間、本番とテストの切り分け方法を確認しておきましょう。

## 5.【ご参考】 インテックの提供するソリューション

流通BMS対応ASPソリューション

EDI-Hub

流通BMS対応次世代XML-EDIソフトウェア

UMLaut/J-XML

流通BMS対応受注端末型ソリューション

eB-forBMS

流通BMS対応電子証明書発行サービス

EINS/PKI<sup>+</sup> for EDI

# 【ご参考】EDI-Hubのご紹介

以下のような問題・課題をお持ちの企業様に最適なソリューションです。

- 様々なデータの情報共有でSCMを加速したい
- 取引先の要望に応えたいが、対応が大変...

業務効率向上

- 相手先毎に、必要な回線・設備を準備しなければ...
- 信頼性も確保しなければならぬし...

設備負担軽減

- 要員の確保ができない
- 問合せの負担が大きくて、本業に集中できない

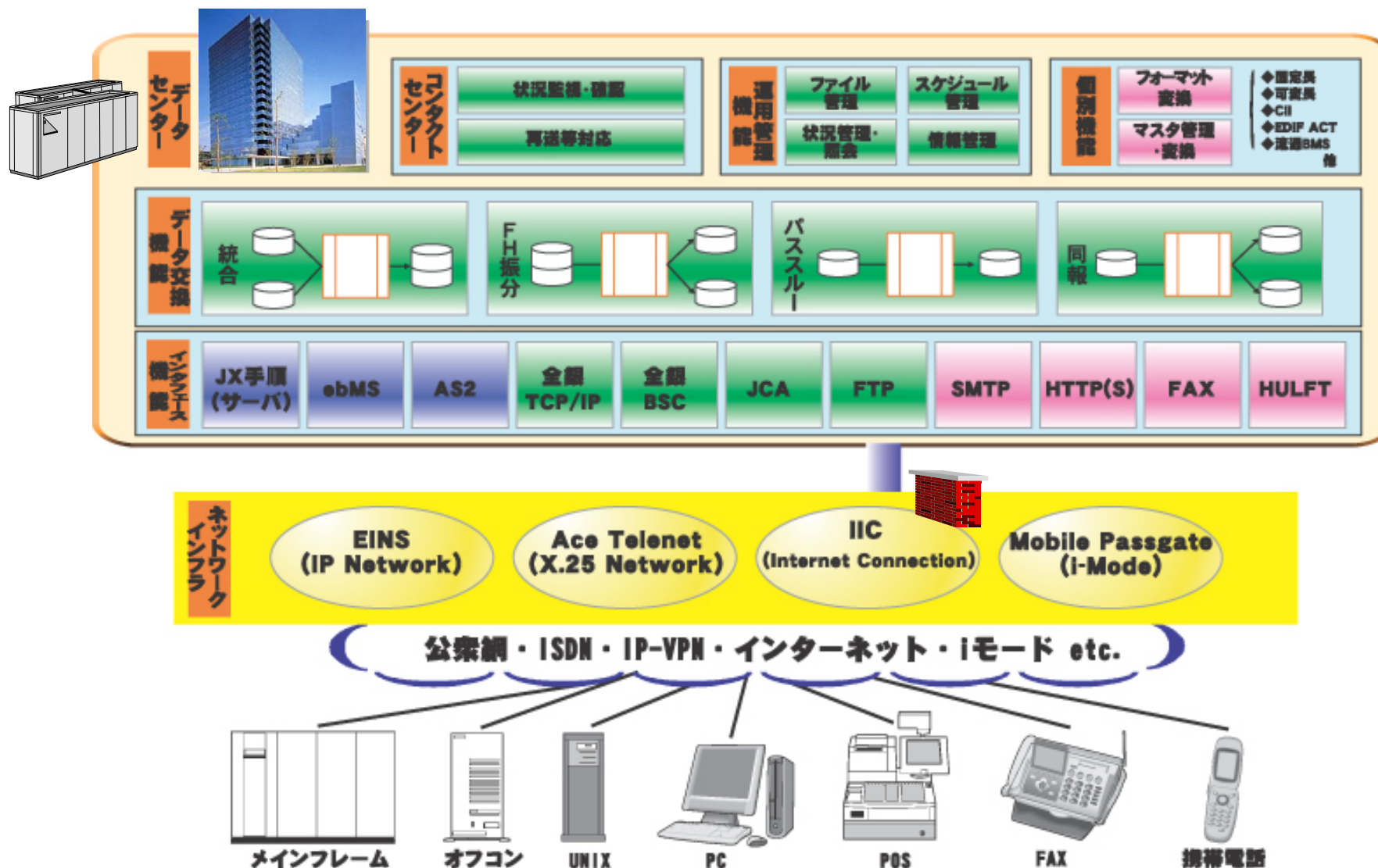
運用負荷軽減

**“EDI-Hub”**がお客様の問題を解決します！

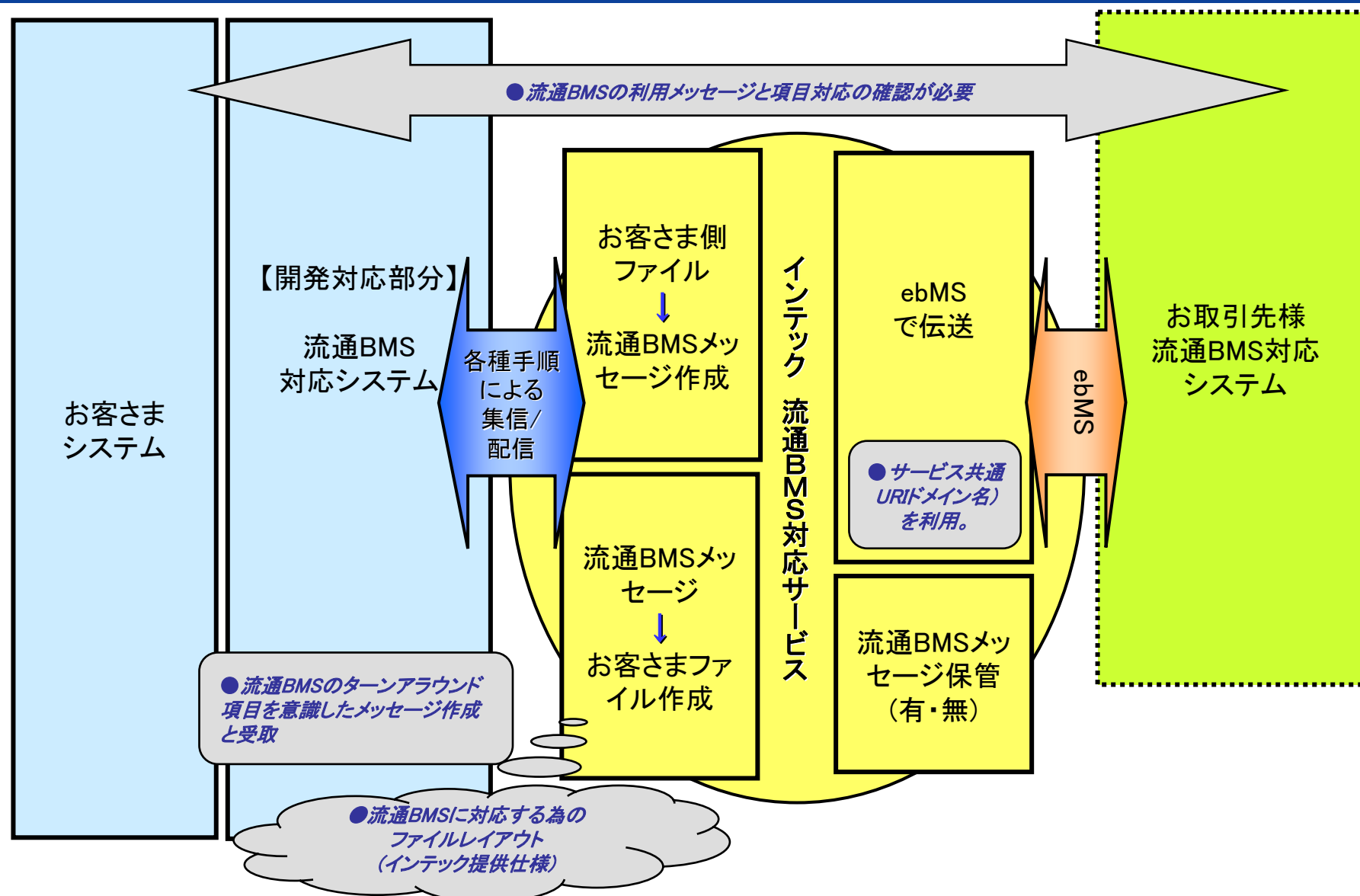
EDI-Hubは、20年以上にわたるEDIシステムの構築・運用ノウハウを結集し、お客様の企業内・企業間データ交換の推進を強力にサポートするトータルEDIサービスです。



# 【ご参考】EDI-Hubソリューション機能概要



# 【ご参考】導入考慮事項(例)



## 【ご参考】EDI-Hubによる流通BMS対応スケジュール(例)

## EDI-Hubを使った流通BMS対応を行う場合の、サンプルスケジュール

| フェーズ      | 作業内容                                                                    | 役割分担  |      |       | 1ヶ月目 |    |    | 2ヶ月目 |    |    | 3ヶ月目 |    |    | 4ヶ月目 |    |    | 5ヶ月目 |    |    |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------|-------|------|-------|------|----|----|------|----|----|------|----|----|------|----|----|------|----|----|
|           |                                                                         | 接続先さま | お客さま | インテック | 10   | 20 | 30 | 10   | 20 | 30 | 10   | 20 | 30 | 10   | 20 | 30 | 10   | 20 | 30 |
| 要件定義      | ①利用データ種・接続先などの確認<br>- 流通BMS 利用メッセージ、対応項目の確認<br>- お客様～EDIHubファイルレイアウトの検討 | ○     | ○    | △     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ②伝送仕様(お客様～EDI-Hub)の確認                                                   |       | ○    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ③ネットワーク接続要件確認<br>- 接続先さま～EDIHub<br>- お客さま～EDIHub                        | △     | △    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ④運用要件の確認<br>- EDIHub処理定義の確認<br>- 運用時間帯、連絡体制                             |       | ○    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| 開発        | ①お客さま業務システム連携開発<br>- 基幹システム～流通BMS対応フォーマット 開発対応<br>- マスター整備              |       | ○    |       |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| 設計        | ①GLN取得                                                                  |       | ○    |       |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ②CPAの構成                                                                 | △     | ○    | △     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ③CPAの調整                                                                 | ○     | ○    |       |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ④伝送設計(お客さま～EDI-Hub)<br>(ネットワーク設計)                                       |       | △    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ⑤運用設計                                                                   |       |      | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ⑥運用資料作成(運用要件定義書)                                                        |       |      | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| 構築・設定     | ①マスタ・CPAなどの設定                                                           |       |      | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ②ネットワーク構築/お客さま～EDI-Hub                                                  |       |      | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| 変換テスト     | ②フォーマット変換テスト                                                            |       | ○    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| 疎通(接続)テスト | ①お客さま～EDI-Hub                                                           |       | ○    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
|           | ②接続先さま～EDI-Hub(ebXML)                                                   | ○     | △    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| スルーテスト    | ③お客さま～インテック～接続先さま                                                       | ○     | ○    | △     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |
| 本番        |                                                                         | ○     | ○    | ○     |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |      |    |    |

## 【前提条件】

- ・流通BMS v1.0を使用することを前提としています。
- ・弊社提供のCSVフォーマットレイアウトをご利用を前提としております。
- ・お客さまと弊社間の伝送手順は、弊社サービス(EDI-Hub)が現在提供するインタフェースのご利用を前提としています。
- ・お客さま業務システム開発を2ヶ月間(仮)としています。
- ・GLN取得やCPAの調整は接続先さまとの兼ね合いもありますので実施期限の目安を記載しています。前倒し可能です。(期間目安として2～3週間)



# 「流通BMS®」の認知度向上へ！

## 流通BMS.com

進化する流通業、その先の未来へ

### 導入企業に見る成功の秘訣

流通BMSに取り組むことが効果につながる

流通BMSの全面的な切り替えに成功し、毎月100件の問い合わせがゼロに。導入企業に見る成功の秘訣。流通BMSに取り組むことが効果につながる。流通BMSの全面的な切り替えに成功し、毎月100件の問い合わせがゼロに。導入企業に見る成功の秘訣。流通BMSに取り組むことが効果につながる。

広告

詳しくはこちらをご覧ください → <http://www.mj-bms.com>

## クローズアップ

Close-up

### 株式会社 インテック

株式会社インテック  
ネットワーク5アウトソーシング事業本部  
B2B・B2C事業推進部  
部長 栗田 和則氏

## 流通BMS.com

進化する流通業、その先の未来へ

### ドラッグストア業界における流通BMSソリューション

ドラッグストア業界における流通BMSソリューション。流通BMSの全面的な切り替えに成功し、毎月100件の問い合わせがゼロに。導入企業に見る成功の秘訣。流通BMSに取り組むことが効果につながる。

広告

詳しくはこちらをご覧ください → <http://www.mj-bms.com/>

## クローズアップ

Close-up

### 株式会社 インテック 導入企業に見る成功の秘訣

株式会社インテック。流通BMSの全面的な切り替えに成功し、毎月100件の問い合わせがゼロに。導入企業に見る成功の秘訣。流通BMSに取り組むことが効果につながる。

株式会社プラネット  
取締役 執行役員  
常務取締役 常務取締役 ユーザー IT 支援部長  
黒岩 昭雄氏



企画・制作：日本経済新聞社クロスメディア営業局

**ご相談・ご連絡は、**

**株式会社インテック**

**ネットワーク&アウトソーシング事業本部 N&O事業推進部**

**電話：045-451-2398 / 082-221-7555**

**メール：bms\_info@intec.co.jp**

**《本資料のお取り扱い上における注意事項》**

本資料に記載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。  
また、弊社が提出した資料及びその記載内容は、転載・再利用等は、  
禁止いたします。